

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スパークスタジオみなみ野 Rainbow Kids		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の資質の向上を図るための、法人内や外部の研修の受講について	月に一度、法人内の事業所全体での会議を実施しており、その際に年間計画に基づいた研修を実施している。 また、必要に応じて外部研修についても受講している。受講した後は報告書を作成し、資料等を用いながら他職員への伝達研修を行っている。	法人内での全体研修について、より専門的な知識を身につけて業務や支援に当たることができるよう、専門家や講師の方を招いた研修を計画している。事業所を運営するために必要な知識を各職員が学び、全体として資質の向上を図っていく。
2	個々の発達段階に合わせた療育プログラムについて	個々の特性や同室利用の組み合わせに留意しながら、基本的に1対1で療育を行っている。 それぞれの感覚特性やその日の状態を考慮して、療育内容に反映させている。また、こどもの興味や発達段階に合わせた関わりと感覚・感情の表現により、運動遊びを展開していくことで、感覚・感情の発達を支援している。	一人ひとりの興味や課題に沿った玩具・教具の充実を図っていく。 全職員によるモニタリング、ケース会議等を定期的に行い、また、日々の療育前のミーティングを行いながら、一人ひとりのこどもに対する共通理解を深めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルや防災に関する取り組みの周知について	各種マニュアルを策定し、感染予防、避難場所等、利用者様に必要な情報についてはその都度共有しているが、情報提供の仕組み化がされておらず、定期的な発信にはなっていない。 お子様の来室時間や職員の配置等の関係により、全てのお子様に対しての定期的な避難訓練の実施が難しい状況がある。	訓練の実施状況や児童の実態を踏まえながら、より多くの利用者様に防災訓練を実施することが出来るように計画を行う。 感染症や防災等のマニュアルについて、利用者様が安心して事業所をご利用いただけるよう、必要な情報を精査した上で、HPやブログを活用しながら定期的に情報提供できるような仕組み化を図っていく。
2	支援終了後のお子様の情報共有について	共有すべき事象があった際には支援終了後に情報共有と意見交流を行っているが、全てのお子様のすべての支援について振り返りをする仕組みと時間の確保はできていない。	毎朝の定期的なミーティングを開催し、前回の療育の振り返りを実施しながら今後の支援に役立てていくことができるよう情報共有を行っていく。 また、療育後の時間についても、業務の区切りをつけて意識的に情報共有を行うことができるよう仕組みを整えていく。
3			